

## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 メイコー  
 コード番号 6787 URL <https://www.meiko-elec.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名屋 佑一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理本部長 (氏名) 本多 正行

TEL 0467-76-6001

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	24,342	16.7	495	71.2	152	88.3	77	
2020年3月期第1四半期	29,219	3.7	1,719	31.0	1,300	51.7	1,097	51.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 625百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 1,506百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	2.97	
2020年3月期第1四半期	41.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	130,079	31,704	24.2
2020年3月期	129,237	32,482	25.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 31,534百万円 2020年3月期 32,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)配当金については、現時点において未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	4.7	3,500	32.6	2,500	47.8	1,700	34.3	64.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	26,803,320 株	2020年3月期	26,803,320 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	629,427 株	2020年3月期	629,427 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	26,173,893 株	2020年3月期1Q	26,173,897 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における電子部品業界は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により景気が急速に悪化し、厳しい状況となりました。こうした中でも、5G関連の需要は引き続き好調に推移するとともに、パソコン、タブレット、ゲーム機などの販売の増加もみられました。

このような状況の中、当社グループでも、世界景気の悪化に加え、前第4四半期に2か月間にわたり当社グループの主力工場である武漢工場が操業停止したことから顧客の転注が発生したため大きな影響が残りました。車載向け基板では、世界的な自動車生産の低迷と顧客の転注により前年同期比で減収となりました。スマートフォン向け基板やAI/IOT基板は、武漢工場の操業停止期間中の転注に加え、試作品生産に対応できず新製品の受注機会を逸失した結果前年同期比で減収となりました。アミューズメント向け基板は消費の拡大を受け増加したことから、前年同期比で増収となりました。EMS事業は、ベトナム工場の拡張による新規案件の獲得やMeiko Towada Vietnam Co., Ltd.が連結対象となったことから、前年同期比で増収となりました。収益面では、工場の稼働調整の実施や、全社的なコスト削減策を推進いたしました。営業外費用に為替差損251百万円を計上するとともに、特別損失に事業構造改善費用等で113百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、24,342百万円（前年同期比16.7%減）と前年同期に比べ4,876百万円の減収となりました。損益面では、営業利益が495百万円（前年同期比71.2%減）、経常利益が152百万円（前年同期比88.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失が77百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,097百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は130,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ841百万円増加しました。流動資産において、現金及び預金が1,251百万円減少、受取手形及び売掛金が736百万円減少、たな卸資産が1,446百万円増加、固定資産において、有形固定資産が1,047百万円増加が主な要因であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は98,374百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,619百万円増加しました。流動負債において、支払手形及び買掛金が2,590百万円減少、短期借入金が5,712百万円増加、固定負債において、長期借入金が1,043百万円減少が主な要因であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は31,704百万円となり、前連結会計年度末に比べ777百万円減少しました。利益剰余金が230百万円減少、為替換算調整勘定が613百万円減少が主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月21日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,889	12,638
受取手形及び売掛金	24,448	23,711
商品及び製品	5,148	7,226
仕掛品	5,505	5,393
原材料及び貯蔵品	8,302	7,782
その他	2,558	2,529
貸倒引当金	△135	△134
流動資産合計	59,716	59,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,205	22,681
機械装置及び運搬具（純額）	29,175	29,259
土地	1,488	1,488
建設仮勘定	4,909	6,512
その他（純額）	4,218	4,102
有形固定資産合計	62,997	64,045
無形固定資産	827	819
投資その他の資産	5,696	6,067
固定資産合計	69,520	70,931
資産合計	129,237	130,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,732	15,141
短期借入金	9,686	15,399
1年内返済予定の長期借入金	15,544	15,503
未払法人税等	204	139
賞与引当金	687	412
役員賞与引当金	40	—
その他	8,169	8,120
流動負債合計	52,064	54,716
固定負債		
長期借入金	40,478	39,435
役員退職慰労引当金	217	215
退職給付に係る負債	2,696	2,710
その他	1,298	1,296
固定負債合計	44,691	43,657
負債合計	96,755	98,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,888	12,888
資本剰余金	6,464	6,464
利益剰余金	13,159	12,929
自己株式	△396	△396
株主資本合計	32,116	31,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	4
繰延ヘッジ損益	30	96
為替換算調整勘定	375	△237
退職給付に係る調整累計額	△224	△215
その他の包括利益累計額合計	172	△352
非支配株主持分	193	170
純資産合計	32,482	31,704
負債純資産合計	129,237	130,079

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	29,219	24,342
売上原価	24,652	21,344
売上総利益	4,566	2,997
販売費及び一般管理費	2,847	2,502
営業利益	1,719	495
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	3	2
受取補償金	3	22
助成金収入	121	25
その他	48	29
営業外収益合計	193	95
営業外費用		
支払利息	173	150
為替差損	368	251
その他	70	36
営業外費用合計	613	438
経常利益	1,300	152
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産除売却損	44	23
投資有価証券売却損	0	—
事業構造改善費用	—	89
貸倒引当金繰入額	—	0
特別損失合計	44	113
税金等調整前四半期純利益	1,260	39
法人税等	163	138
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,097	△98
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,097	△77

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,097	△98
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	12
繰延ヘッジ損益	△68	66
為替換算調整勘定	△2,555	△615
退職給付に係る調整額	11	9
その他の包括利益合計	△2,603	△526
四半期包括利益	△1,506	△625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,506	△602
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△23

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、電子回路基板等の設計、製造販売及びこれらの付随業務の電子関連事業を主とし、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。